

## 推薦入学合格者課題「探究に挑戦」について

・この課題では、過去の経験をさらに深めるテーマや新たに興味を持ったテーマを選び、それについて調べて考察します。例を参考に①～④までまとめてください。③では必ず1冊以上の本を読み、その要約を書いてください。読んだ本については、例にならって、「書籍名」(著者名・出版社・発行年)を記録すること。

・この用紙に内容を書ききれない場合や実際に実験・観察してみたこと、過去の研究資料等があれば、ホッチキスで添付して提出してください。

・入学までの時間を使い、自分が「もっと知りたい」と思うことにじっくり取り組んでみてください。

### 例1 過去の研究を深めるテーマの例

①テーマ	植物の光合成に影響を与える光以外の環境条件
②動機 (なぜそのテーマについて研究しようと思ったのか)	中学の自由研究で、光の強さが植物の光合成に与える影響を調べた経験があり、その時に温度や二酸化炭素濃度が関係する可能性にも気づいた。ただ、その時はそこまで調べきれずに終わってしまった。高校に入学したら、改めてその部分を詳しく知りたいと思い、テーマとして取り上げた。
③テーマについて調べたこと (書籍等の要約)	○「光合成とは何か」(園池公毅著 講談社 2008年) 光合成は光の強さだけでなく、温度や二酸化炭素濃度にも影響を受ける。特に温度が高すぎると光合成速度が低下する現象が示されている。また、二酸化炭素濃度が低下すると、光合成速度も低下する。 ○「夢の新エネルギー 人口光合成とは何か」(光化学協会編 講談社 2016年) 「人工光合成」は太陽光エネルギーと水を原料にして、水素などの高エネルギー物質を創り出す技術である。温暖化の原因とされる二酸化炭素を抑え、再利用することで、環境にもやさしい。日本人が発明したこの技術は、地球のエネルギー問題を救えると世界中から注目されている。
④まとめ・今後の展望	光合成は光の強さ、温度、二酸化炭素濃度が互いに影響しあい、条件ごとの最適なバランスが重要であることがわかった。また、人工的に光合成を行う技術を開発することは、地球のエネルギー問題の解決に繋がることを知り、とても驚いた。私は、高校で光合成の研究を行い、温度や二酸化炭素濃度などの光合成の最適な条件を明らかにしたい。

### 例2 新たに興味を持ったテーマの例

①テーマ	地域社会における伝統文化をどうすれば守れるか
②動機 (なぜそのテーマについて研究しようと思ったのか)	最近、地元のお祭りが無くなるかもしれないと聞いて驚いた。小さい頃から毎年楽しみにしていたお祭りなので、とても寂しい気持ちになった。なぜこんなことが起きているのか理由を調べる中で、少子高齢化や過疎化が関係しているのを知り、どうすれば伝統文化を守れるのかをもっと知りたいと思った。
③テーマについて調べたこと (書籍等の要約)	○「地域文化と現代社会」(★★★著 △△出版 2021年) 伝統文化は地域のアイデンティティ形成に重要な役割を果たしており、特にお祭りや伝統芸能が地域のつながりを強める手段として有効だとされている。 ○「少子高齢化の文化財」(◇◇◇著 ××社 2020年) 少子高齢化が進む中で、地域の祭りを守るためには住民同士の協力だけでなく、外部からの支援や観光資源としての活用が重要であると指摘されている。また、若者が積極的に参加する仕組みづくりも課題である。 ○「日本の祭り」(理論社編 理論社 2015年) 日本全国の祭りが地域ごとにまとめられている。有名な祭りだけでなく、それぞれの小さなお祭りにも地域性や歴史的背景があることがわかり、興味深かった。
④まとめ・今後の展望	地域の伝統文化は、単に保存するだけでなく現代社会の中でどのように活用し、次世代に受け継ぐかを考える必要がある。また、地域住民と外部の人が協力することが、文化財の存続にとって鍵となることがわかった。 高校では、わたしの地元の祭りについて、自治会の方などにインタビューを行い、深く調べてみたい。そして、祭りを残すために、自分ができることを探したい。

提出日 3月23日(月) 合格者説明会受付にて提出

# 【探究に挑戦】

令和8年度推薦入学合格者課題

① テーマ

② 動機（なぜそのテーマについて研究しようと思ったのか）

③ テーマについて調べたこと（書籍等の要約）

○「」(  )

④ まとめ・今後の展望（調べてみてさらに疑問に思ったこと、今後さらに深めたいと思ったことなど）

受検番号 (  ) 名前 (  )